



在京古高同窓会会報
第68号

〒352-0031
新座市西堀2-17-37
在京古高同窓会事務局
佐々木恭次
☎・FAX (042) 494-1598
URL: <http://在京古高同窓会.com>
E-mail: sskkyj@gmail.com
編集長：亀井 明
印刷：(株)ケーヨー

皆様、お元気ですか

会長 鹿野 軍勝



皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年コロナ感染の大波に何度か見舞われて、本当に大変な一年でした。友達にも会えず、食べにも行けず、少しづつ小さな狭い世界に閉じ込められた気分になってしまいました。新しい年を迎えて、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年こそは、せめて平穏で楽しいことも多少ある一年であってほしいと願っております。

さて、初めに残念なお知らせをしなければなりません。今年こそはと思って準備してきた四校の合同新年会は、今年も誠に残念ながら中止することとなりました。いまだ例年のごとく、忘年会や新年会、あるいはクラス会で、談笑しながら懇親を深めるといった状況には戻っておりません。悪しからずご了承を頂きたいと思っております。

ところで、大谷翔平選手が大変なことをやってくれました。リーグの最優秀選手MVPに満票で選出されました。成績はもろろん、

あの笑顔とさわやかな立ち振る舞いが最高です。話は変わりますが、皆様はオリンピック・パラリンピックをご観望になりましたか。私はしっかりと観望しましたし、特にパラリンピックには感動しました。色々不安もあり批判もありましたが、無事に開催出来てよかったと思っています。1964年の時も、未だ戦後復興も成っていないのに何事かとの批判があったようですが、他方で日本人選手の活躍で国中が沸騰したとも聞いております。今回は如何でしたでしょうか。

先日総選挙の結果を皆様は如何ご覧になりましたか。国民は、政権の交代は論外として、政治に大きな変化は求めなかった、といったところでしょうか。日本維新の会の躍進も、自民党や立憲民主党に対する批判であったように思われます。今年の夏には参議院選挙があるのですが、何か変わるのでしょうか。

外に目を転じますと、何と云っても中国の事が気にかかります。図体が大きく、腕力もあり、思考が硬直的で強硬な隣国とどう付き合うかは、大変に難しい問題です。とても一国で対処できることではありません。考えを同じくする仲間が要ります。多ければ多いほどよいでしょう。中国は、ウイグル・香港の問題には類かぶりをして、台湾をのぞけば、国内を完全に掌握しています。中国が打とうとしている手を見極め、「台湾

在京同窓会メモー

- ・会計年度は4月-翌3月、年会費は2,000円です。振り込み用紙が同封された方は会費納入をお願いします。
- ・会の健全運営のため、賛助金のご協力をお願いします。
- ・次回会報第69号は2022年6月1日発行予定、原稿は常時受付。

海峡波高し」に至らないよう注意しながら、仲間たちと一緒に中国の行動を監視・撃射していかなければならないではないかと思えます。航行の自由「作戦、北京オリンピックの外交的ポイコットも良いのではないのでしょうか。

最後になりましたが、お願いがあります。それは、同窓会の会費の値上げについてです。目下のところ、会報の発行を除いては活動が出来ておらず、賛助金を頂いているお蔭で、何とか収支トントンの状況です。今後本部との交流、在仙同窓会との交流、あるいは若手同窓生への働きかけを再開すれば、赤字に陥ることは明らかです。詳しくは、次回総会の折に説明の上お諮りしたいと思っております。本当に「また会える日」が待ち遠しいのですが、皆様におかれましてはお体に気を付けて、のんびり楽しくお過ごしください。

新年のごあいさつ

古川高等学校長 藤川 卓志



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

在京同窓会の皆様には、日頃より本校教育活動の充実のためにご支援を頂き、心より感謝申し上げます。

令和3年度は前年度同様コロナ感染症対策に追われ、学校活動も大きな制約を受けました。9月にはハイブリッド型のリモート授業も取り入れ、安全に配慮した教育活動を継続しております。その甲斐あってか今年度に入ってから今日まで、感染者は一人も出ておりません。大崎市内の高校でクラスターが発生したこともあり、文化祭を自粛もしくは一般公開中止にした高校が多い中、本校は生徒達の希望を取り入れ、来場者を限定して古高祭を開催しました。修学旅行についても計画通り12月に京都方面に行く予定です。体育祭や合唱コンクールも生徒達の意見を取り入れながら感染症対策を万全にして実施いたしました。これらのことは古高生の意識の高さを教職員が認めているからこそ得たことだと確信しております。多くの高校が学校行事を断念する中、古高は自主自律の精神で自分たちの伝統を守り抜く気概を示しております。

話は変わりますが、令和3年7月18日から2ヶ月間、市内の吉野作造記念館で「吉野作造と後藤新平」展が開催されました。その際、本校が所有している後藤新平氏直筆の扁額と旧制古川中学校で講演したときの記録が展示されました。講演の中で後藤氏は旧制古中生に対して「第一は良師友を選ぶこと。第二は歴史を照らして己の将来を定むること。中略」古人の歌に「良き者を見れば心は磨かれて、鏡に向ふ心地こそすれ」とあるが、只これだけでは未だ将来の幸福を致すには足らぬような心地がする。

お知らせ

「新年の集い」開催中止のお知らせ

別紙でもお知らせしておりますとおり、2022年1月開催予定で準備しておりました「旧古川市内四校同窓会新年の集い」は開催中止とせざるを得ないとの判断となりました。

1 施設側から「立食形式の懇親会不可」「着席形式の場合も離席控えてほしい」との要望があり、懇親が十分に図れない形式でしか開催できないこと。

2 仮に着席形式とした場合、大幅な会費アップになってしまうこと。

3 新たな新型コロナウイルスの発生が懸念されること。

本部同窓会事務局だより

新年のご挨拶

古川高校同窓会 会長 伊藤 貞嘉



在京古高同窓生の皆様、明けましておめでとうございます。本年が皆様にとって素晴らしい年になることを祈念しております。

2021年も新型コロナウイルスの感染拡大が社会に深刻な影響を与えました。東京オリンピックも、緊急事態宣言が出されるような状況での開催について様々な議論がありました。しかし、結果として、日本人選手が大活躍をして、米国、中国に次ぐ金メダル数27個の獲得という快挙を上げました。女子ソフトボールや柔道など感激する場面が多くありました。また、2021年は熱海の土石流や列車内での殺傷事件、中学校で男子生徒が刺殺されるなど暗い事件が多かった感じがします。皆孤独になっているのかもしれない。そして、それに、コロナウイルスの感染拡大が追い打ちをかけているのかもしれない。コロナ感染は社会を大きく変え始めているように思います。Webやインターネットの発達により、人間が直接話すことや、理解し合う機会が減少したのかもかもしれません。やはり、直接話をするこほお互いの理解を進めることは無いようです。一方、明るいニュースもありまし

た。まず、大谷翔平が米国大リーグで、二刀流の大活躍をし、MVPをはじめ多くの賞を受賞しました。ホームラン王を争いながら、投手としても圧巻でありました。日本人として東北人としてとても誇らしく感じています。もう一つは、将棋の棋士藤井聡太の活躍です。私は、将棋と碁を趣味にしていますので、藤井聡太の将棋はすべてフォローしています。14歳でプロデビューしてからの29連勝から始まり、数々の記録を塗り替えてきました。いつも、新鮮な指し方であり、ぎりぎりの線での深い読み裏付けられた感動的な妙手がしばしば現れました。弱冠19歳で、将棋界最高峰のタイトルである竜王を含め、史上初の10代での4冠タイトル保持者となりました。

先日NHKスペシャルで藤井聡太と豊島将之(元竜王)のタイトル戦の経緯が放送されていました。二人の命を削った戦いの様子が大変良く描かれていました。二人とも、将棋盤を挟んで勝敗とはかけ離れたレベルで、将棋の宇宙の真理を追究している様子が描かれていました。彼らは、将棋盤を挟んで没頭している時間をとても有意義で、幸せに感じたと話していました。二人は、対戦することにより、お互いを高め合い、他のプロ棋士がたどり着けない境地・レベルに到達しているかのようでした。藤井も豊島も早くからAIを取り入れて将棋を勉強してきており、AIの予想する指し手と彼らが実際に指した手の一致率は他の棋士より圧倒的に高いものと報じられていました。今や、プロ棋士はAIには勝てないようです。藤井もそのように話していました。また、テレビなどでは、実際に棋士が対局している将棋の解説が行われていますが、その場でもAIが使われ、棋士が指す前にAIの予想手が示され、しばしばプロ棋士の解説者が驚く場面が見られています。そのような驚きの手

を藤井や豊島が指した時は、驚きとともに「感動」をもたらしています。AIからは驚きを感じることはできません。感動とは人間と人間の間にのみ存在するものではないでしょうか。そして、感動することで人は動きます。若者たちは感動する感性を持ち合わせています。我々は、社会通念や慣習などで、その感性を失わせないように心がけることが重要だと肝に銘じる必要があります。私は、大学卒業後2年間の初期研修をして東北大学第二内科に入局しましたが、私の師事した阿部圭志先生は翌年私を海外留学させました。これがあつたからこそ、私は教授になれました。教授になった後で「なぜ私を若くして海外留学をさせたのか」という私の質問に対して、阿部先生のお答えは「自分の手垢を付ける前に世界の一流に触れさせることが重要だと考えている」とのことでした。世の中の指導者のなかには「自分の手垢をべつたり付けて、教育・指導したつもり」になっている人が何と多いことでしょう。

昨年の秋から新型コロナウイルスの新規感染者数は急激に減少し、日常を取り戻しつつあるような状況です。しかし、南アフリカから新たな変異株であるオミクロンが検出され、瞬く間に世界中に広がっています。また、ヨーロッパやアメリカでは相変わらずコロナの新規患者が多く出ております。わが国では、水際対策をしっかりとらして、感染が拡大しないようにしてもらいたいものです。スペイン風邪も2〜3年で終息しました。いずれ、コロナ感染も終息するでしょう。その世界が、より進化した、幸せな世界となることを期待したいと思えます。

在京古高同窓会の皆様、新年あけましておめでとうございます。令和3年も新型コロナウイルス感染症の収束には至らず、昨年に引き続き同窓会総会をはじめとしたほとんどの同窓会行事が中止となりました。特に同窓会総会は同窓会創立110周年記念事業の演奏会を1年スライドして実施するはずでしたが感染状況を鑑みて断腸の思いで中止の決断をいたしました。楽しみにされていた同窓生の方々、準備に携わっていただいた在京同窓会曾根副会長には本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

近況報告

事務局局長 遠藤 直樹



同窓会本部役員についてですが平成21年度より永きにわたり古高同窓会活動にご尽力いただきました藤原光男副会長(昭32・高9)が昨年6月に逝去されました。この場をお借りしましてこれまでの功績に対し感謝の意を示すとともに謹んでお悔やみ申し上げます。また役員の交代もありこれまで監事を務めていただいた宍戸陸夫監事(昭32・高9)と青沼順市監事(昭44・高21)が、勇退され、新たに阿部哲男監事(昭42・高19)、鹿野壽悦監事(昭43・高20)に加わっていただきました。令和3年から新たな体制で同窓会本部もスタートしておりますのでよろしく願っています。令和3年度の古川高校も制約を受けながらも限りなく例年に近い形で学校生活を送っています。緊急事態宣言下においても通常の授業に加えオンラインで実施し、感染拡大を抑えつつできる限り授業数を減らさない形で乗り切ってきました。学校行事にお

ても古高祭では生徒自身で感染防止の対策を講じ企画が縮小しないよう工夫を凝らし実施しました。また新たな企画の一つとして古高グッズ販売を企画し、その中で校章をプリントした古高どら焼きは大変好評を得ました。そして体育祭が行われた9月には無事全ての行事を終えたことへの感謝とコロナウイルス収束を願って夜空へ花火を打ち上げ、高校生活の記憶に残る1ページになったのではないかと思います。部活動では県新人大大会が行われており、ソフトボール部が県大会で2位となり東北大会出場を果たしました。陸上競技部は5種目で入賞し特に1600mRでは26年前から現在の形で実施されている東北新人大大会初めり種目での東北大会出場権を勝ち取りました。また剣道部男子団体では3位に入賞し、2月に行われる東北大会の出場となり、また卓球男子個人では公立で唯一のベスト8進出となり、各部とも大いに健闘しました。文化部に目を向ければ文芸部が全国高校文芸コンクールで優良賞となり全国大会での入賞となり大きな成果をあげました。合唱部においても全日本合唱コンクール宮城県大会において金賞となり東北大会出場を果たしております。どの部活動も真の文武両道の実現に向けて一生懸命努力を積み重ねております。

最後になりますが昨年の5月に同窓会会員名簿を5年ぶりに発刊いたしました。事務局には若干在庫がございますので必要とされる卒業生の方々は古川高校同窓会HPのお問い合わせよりお知らせいただければ販売いたしますのでご連絡をよろしく願っています。また、令和4年度同窓会総会は8月7日(日)に大崎市古川の「グランドピール」で行う予定です。新型コロナウイルス感染状況が読めないところではあります。今年こそ実施できることを信じて準備を進めてまいりますので、その際には是非足を運んでいただきたいと思います。

〈第 1 号議案〉 令和 2 年度活動報告

令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

Table with 3 columns: 年月日, 活動内容, 場所. Includes dates from 5月16日 to 3月1日 and details of activities and meetings.

〈第 3 号議案〉 令和 2 年度活動計画案

令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

Table with 3 columns: 年月日, 活動内容, 場所. Includes dates from 5月8日 to 3月1日 and details of planned activities and meetings.

〈第 2 号議案〉 令和 2 年度 決算報告及び〈第 4 号議案〉 令和 3 年度 予算案

令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

〈収入の部〉

令和 3 年度

Table with 6 columns: 科目, 決算額(円), 予算額(円), 増減額(円), 備考, 予算額(円), 備考. Lists income items like 年会費, 賛助金, etc.

〈支出の部〉

令和 3 年度

Table with 6 columns: 科目, 決算額(円), 予算額(円), 増減額(円), 備考, 予算額(円). Lists expense items like 会議費, 図書印刷費, etc.

〈第 5 号議案〉 現行役員 1 年継続選任案

現行役員は、以下のとおりです。

(任期) 令和3年6月30日から令和4年定時総会まで

- List of current officers: 会長 鹿野 軍勝 S36年卒, 副会長 曾根 研一 S30年卒, etc.

現行の顧問は、以下のとおりです。

- List of advisors: 三浦 澄能 S24年卒, 高橋 俊裕 S33年卒

現行の幹事は、以下のとおりです。

- List of current officers: 佐藤 清勝 S27年卒, 渡辺 吉郎 S30年卒, etc.

本年も、昨年からの新型コロナウイルス蔓延の終息が見えないため、在京古高同窓会総会は中止といたしました。毎年総会で決議頂いておきます上記議案を包含した議案書をお手元にお送りし、回答を頂いた方の過半数の賛成にて決議させて頂くこととしております。7月にお送りした令和3年度の議案書の回答ハガキは153人の会員から届き、全員賛成でありましたことをご報告いたしますと共に、ご承認頂きまして有難うございました。今年の同窓会活動も昨年から未だコロナ禍で活動が大幅に制限されており、役員一同本議案に則り、務めさせて頂きま

す。(事務局長 佐々木恭次)

令和3年度 在京同窓会議案と 決議状況報告

会員による自由投稿

近況

昭41卒 金澤 茂

私の簡単なプロフィールは1947年大崎市鹿島台町に生まれました。古川高校から国立音大を卒業し、東京交響楽団にトロンボーン奏者、マネージャーとして勤務し、約40年間在籍しました。その後2012年から長野県文化振興財団付属の長野県民文化会館（ホクト文化ホール）の館長として現在に至ります。

〈きつかけ〉

トロンボーンとの出会いのは、中学生の吹奏楽部でした。演奏技術は全くの素人ですので、どのように演奏していたのかも殆ど覚えていないくらいです。当時は生の音楽が殆どない時代でしたので、運動会などや町内外の行事に駆り出されたのは、よく覚えております。

楽器はなかなか良いものはない、汗で緑青が出てくるような代物でした。そうは言います



筆者



伊那市民吹奏楽団（正面右：著者）

も、自分で音が出せるということには、上手下手は別にしまして興味を抱いたことは確かでした。高校に入学した後に、どうしても音楽の世界に進みたいと思いい、当時の吹奏楽部顧問の友川先生に相談しました。先生曰く、今頃なにつしや、という反応でした。要するに音大受験の準備は全くなく、無理というお言葉だったと思います。それから、音大受験の準備は殆どしていませんでしたので急ごしらえのピアノの勉強や楽典の勉強でした。一浪して国立音大に入学できました。私に対して先ず当時の周りの反響ですが、

「普段は皿洗いでもしながらプロを目指すのですか？」。偽らざるエピソードです（ふるさと）

私の育った鹿島台の山の中は、分校のような小学校でした。学校にピアノはありませんでした。もちろん自宅にもあるわけは無く、学校には足踏みオルガンがありましたが、オルガンの音色が妙に心に残りました。他には、当時の楽器としてはハーモニカでしょうか。ハーモニカも大好きで上手に吹けたのですが、自己流のためか左右逆に覚えてしまい、小学校に入ってから不思議がられました。環境が揃っていないのと予備知識の無さという典型的な例ですね。生活の環境は、自然の音、鳥の声、小川のせせらぎの音、稲穂が奏でる音、これに勝る音楽の先生はいないのではないかと、と今でも思っています。小学校の下校時は毎回と言っていいほど、小川を遡上する魚を手づかみで捕まえるのがとても楽しみでした。音楽を専門に仕事としてから常に思うことは、幼児の時の心の育成がとても大切かと思えます。

〈転機〉

今でも無謀な将来を選択したものと思っています。プロになれる担保は全くと言っていいほどありませんでした。確かに当時でも音大受験生はたくさんおり、卒業生も毎年トロンボーンだけで全国で100人位はい

たと思います。オーケストラのポジションは常に満席でしたし、空席があればオーディションがあり受験しますが、たくさん受験者がおり合格は夢のような話でした。1971年音大生の在学時、オーケストラがあり運よくオーケストラに入団できました。演奏活動は、いろいろやりましたが、TVの「題名のない音楽会」、「音楽の広場」、新国立劇場でのオペラ、サントリホールでの定期演奏会、ヨーロッパなどの世界ツアーなど、あらゆるジャンルでした。ゴジラのテーマソングも何作か録音いたしました。1976年から2年間、文化庁の派遣によりウイーンで音楽の勉強することになりました。この留学は、私の人生を変えるくらいの衝撃的な出来事でした。音楽はもちろんですが、日本文化の良さ等の再発見にもつながりました。この留学での経験が現在の長野での会館運営にもつながっているように思っています。また、オーケストラ在籍中の後半18年間は、経営者の一角を担いました。当時のオーケストラは、大きなスポンサーがついている団体以外は、経営が安定していませんでした。民間のオーケストラは、経営が安定せず自転車操業と言えるような状態でしたので、経済的にも社会的地位を得る経営をめざして東奔西走でした。

1980年代に外食産業の「株式会社いらく」が大スポンサーとしてバックについてくれることになりました。芸術文化に造詣が深い創業者様でした。このスポンサーが無ければ東京交響楽団の発展は無かったように思います。本当に感謝に堪えません。

〈現在〉

長野の県民文化会館運営は、貸館と自主事業のプロデュースが主な仕事です。ホールが大小と、他にもいろいろな施設があり、運営としては大変な業務です。この施設は開館38年



中新田バッハホール



長野県民文化会館

になります。2018年の改修記念行事としまして、ウィーンフィルを招へいできました。私にとりましては、とても緊張を強いられた一大イベントでした。余談になりますが、現在、中新田バツハホールの運営にも携わっております。現在まで本当にたくさんの方々との出会いがあり、ここまで音楽の仕事に携われましたことが、とてもうれしく思います。

電車内閉じ込めに遭遇 —小田急電車刺傷事件—

昭30卒 曾根 研一

東京五輪開催中の8月6日、20時頃に勤務を終えて新宿から小田急線の急行に乗り、降車駅の成城学園前に着く直前20時30分頃、「緊急停車します」という車内アナウンスで電車が止まった。

車内アナウンスはその後、「トラブルが発生しましたので、確認をしております」。しばらくすると、「ただいま警察の方が」。よくある客同士のトラブルの延長くらいに思っていたが、時間が経過しても同じ車内アナウンスの繰り返しだったので、スマホの遅延状況を確認し、反対車線の上り電車で殺傷事件があったことを知った。ちょうど、電車がすれ違った頃に事件があったらしい。

電車が止まった状態になり、21時15分頃のアナウンスでは「お客さまには、これから成城学園前駅まで線路を歩いていただきます。ただいまその準備をしております」。いつも、この位の時間に電車に乗って帰宅することを知っている妻や嫁いでいる娘から、テレビのニュースを見て21時半頃から「大丈夫？」とメールが入り、「もう1時間以上、止まった電車の中にいる。間もなく線路を歩いて帰ることになる」と返した。

車内アナウンスではその後も、事件の詳細の知らせは一切なかった。犯人は、車外に出て逃走したというニュースもスマホで見たので、その影響で乗客を降ろさないのかと想像していたが、21時45分頃から隣の各停電車の乗客が歩き出したので、間もなく車内閉じ込めから開放されるだろうと期待した。

私が乗っていたのは下り急行の先頭から8両目だったが、後方の10両目に移動を案内され、隣の各停後方車両に乗り移った。時刻は22時15分頃、渡橋はシートを取り外して、それを利用していたので頑丈なものではなくフワフワ感があり、重量の関係で前の人が渡りきったら乗り移るように駅員が案内していた。

10両編成の各停の後方車両から先頭車両まで、ときどき渋滞で立ち止まったりしながら車内を10分ほど歩き、22時半頃、運転席から小さな階段を降りてやと線路脇に出ることができた。電車の前照灯が届かなくなるところまで歩くと真つ暗になったので、前を歩いている人の足元だけを頼りに、列になってゆっくり転ばないように気をつけながら駅まで10分ほど歩いた。



左から佐々木、鹿野、宮本、高橋

それにしても閉じ込められた2時間超、周りの人々は冷静なものだった。私と同じように立っている人が多かったが、ほとんどの人がスマホを見ながらうつぶしている。電話をかける人もいないし、話し声も聞こえない。異様とも思える静寂なのか、不安を口にした駅員に詰め寄る姿も全くなく、改めて日本人の忍耐力の強さを再認識させられた。

『宮本信夫個展を 楽しむ』

昭38卒 佐々木恭次

さる10月18日(月)から23日(土)の期間にて古高同期の宮本信夫君の個展が2年振りに銀座ギャラリー「うえずと」で開催されました。名古屋から前同窓会会長高橋俊裕さんが上京されたので、現会長鹿野軍勝さんも誘って3人で楽しんで来ました。

宮本君は古高在学中六戸章先生の薫陶を受け、絵描きの道に入り、その後岡本太郎らの影響を受けながら独自の領域・造形



作品 (竜神)

美術の領域を広げてきました。彼の作品は、一般の絵具で絵画を描くものもありますが、絵画と造形を合わせた作品群が本領なようです。木工に金属を溶かした材料を織り交ぜて作品にするものです。

今回の個展は、彼が二年前文化交流で中国四川省を旅した折の心象をベースにした作品群で、竜神をモチーフにした「自然の声、色、音等の五感に通じた世界に羽ばたく」と謳っておりました。小生には、彼の感性を理解するには程遠いながらも作品群を眺めて、従来とは異なるインパクトを感じました。個人宅に掛けて鑑賞するには、サイズが大き過ぎても楽しめるのがギヤラリーならではでした。会場は、家族、教え子とその保護者が集って、楽しい雰囲気、30点以上描き貯めた作品を展示しており、来場者は記帳していった方だけで350数名おられたと聞いておりますので、コロナ禍のなか、多数の方々が鑑賞に訪れ、先ずは盛会な個展だったと嬉しく思っております。彼が、2007年に栃木の那須山腹に工房(1064..てんとう虫)を建てて芸術活動を始めた時から裏方を手助けしてきた一人で

おりますが、齢70も後半になっても制作意欲は衰えていないことを感じながら、同期としてますます精進すること願っております。主な作品は、東京都庁の屋外中央広場、地元の古川緒絶橋ギヤラリー前や古川市民病院入口にモニュメントが屋外展示してあります。

50代半ばの転職と初めての海外勤務

昭55卒 亀井 明 (後編)

1. シンガポールという国

国土・人口と距離感
広さとしては、シンガポール島は東京の23区と同じぐらいの広さで、人口は半分(500万人強)です。そのため人口密度は東京23区の半分ぐらいです。日本との時差は1時間です(中国、香港、フィリピン、マレーシアと同じ)。しかし、距離は5000km以上あり、距離的にハワイに近いです。そのため飛行機で6~8時間かかります。東南アジアということですが、3~4時間で行けるイメージですが、結構遠いのです。マレーシアのクアラルンプールもほぼ同じ距離です。距離は遠くても時差がない方が体が楽です。

● 気候

赤道直下ですので、1年を通じて真夏です。若干雨が多い時期と少ない時期があります。そのため1年中、夏服です。地元

民は夏服しか必要ありませんので、タンスは小さ目のことが多いようです。

● 言語、民族

基本、英語は公用語ですので通じるのですが、彼らが話す英語は、「シングリッシュ」と呼ばれ独特なもので、慣れないとよく聞きとれません。住民の70%以上が中華系で、マレー系20%、インド系10%という感じでしょうか。自分がいた会社は、経営が中華系ですので、社員同士では中国語でのやりとりが多かったです。自分では理解できません。自分と話すときは英語で話していました。グローバルな金融関係の人は普段英語を使いますが、ローカル企業は必ずしもそうではないことがわかりました。私に聞かれて困るようなことは中国語で話しているということもあつたようです。

● 交通事情

国の政策としては、自動車を制限し、その分公共交通機関を充実させるといふものです。また、基幹インフラとしてのチャング空港への投資は莫大なものがあり、巨大で立派であり、例えていうなら、成田と羽田を足して、巨大ショッピングモールを複数併設したようなものです。羽田と成田が貧相に見えることは間違いありません。

政策のため、自動車を保有するためのコストが大変高く、カローラクラスのクルマでも乗り出しに600~800万円ぐらいかかります。そのため同じ1

台保有するのであれば、高めのクルマを保有することが多いようで、小型車はあんまり走っていません。フェラーリだろうがランボルギーニだろうが、高級車のディーラーがちゃんとあつてそこそこ売れているようです。地下鉄等の電車、及びバスが大変発達しており、自動車がなくともそんなに不便を感じません。公共交通機関はプリペイド型の電子マネーを使うのがメインです。料金は日本人の感覚からすれば大変割安です。また、タクシーも日本と比べて大変安く手軽に使うことができます(半額イメージ)。間違いなく日本のタクシーが大変高く感じます。

● 治安・医療

治安は全く問題ありません。日本人の駐在員は1万人以上おり、家族連れが多いことから、日本人向けの医療機関が結構ありまして、日本人の医師、看護師が多数おり、全く心配することはありません。子供連れでも心配はいりません。

● 政治への意識

シンガポールはマレーから分離独立し(マレーから叩き出された、という表現を使っている人も)、中華系が中心となって発展してきた国です。イスラム国に囲まれているためそれは大きくはないが脅威だと言っています。2018年、マレーシアのマハティール氏が高齢ながら首相に復帰しましたが、「あの老いぼれ、また出てきやがって

」的な世論のようです。シンガポール人がマハティール氏を快く思っていないことは意外でしたが、よくよく考えれば、マレーシアでマレー人優遇政策(逆に言えば中華系を抑圧)を長らくとってきた張本人がマハティール氏なので、わかるような気もします。

香港の民主化運動に対する中国本土の弾圧については、非常に神経質であり、昼食時にもよく話題に登っていました。一方、「香港はもうだめだろう」的な諦めが感じられました。しかし、香港はしようがないにしても台湾を無理に統一するのは絶対ダメだとも言っていました。

情報処理のエキスパート | 高水準コピー | 最新技術導入のDTP

総合複写 総合印刷

信頼と実績のケーヨーにおまかせください!

専任スタッフ・有資格者

CALS/EC インストラクター	6名
SXF 技術者	1名
電子化ファイリング検定 B 級	4名
文書情報管理士 1 級	13名
文書情報管理士 2 級	9名

- 諸官公庁完成図書
- デジタルデータ作成支援
- 総合複写 製本・総合印刷
- 電子納品作成支援 (CALS)
- ファイリング・写真整理
- 大型コピー・各種製本
- 図書製本・CAD 入出力
- データ変換・入出力
- デジタル印刷・パンフレット
- 写真撮影



〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-1-6 TEL.03-3242-0191
URL:https://www.keyo.co.jp E-mail:info@keyo.co.jp



2・シンガポールでの生活

シンガポールは赴任以前にプライベートで何度か訪れたことがあり、全く土地勘がないということはありませんでしたが、現地在住ということになると話が違います。日本の派遣元では海外に人材を派遣するサポート体制は特になく、現地に日本人もおらず、ほとんどのことは自分でやらなくてはなりません。まずは就労ビザの取得と住むところを決めるところからのスタートでした。

前職の関係で、現地の日本人駐在員向けの物件を多数扱っている不動産会社を紹介してもらい、いくつか見て決めました。日本人マネージャーで助かりました。

●簡単ではない就労ビザ取得

外国人の就労ビザはだんだん厳しくなっています。なるべくシンガポール人を雇用するよう

にということ。日本人の場合、会社の幹部クラスとか、特殊な技能がある人だけであり、だれでも就労ビザがとれるわけではありません。学歴と給与のマトリックスで、自分の場合ですと、最低3300ドル/月上の給与でないと、ビザができませんでした。

●充実した食生活

シンガポールは世界的に見ても屋台の利用率が非常に高いところ。屋台といっても、道路の上にあるわけではなく、「ホーカーセンター」という多数の屋台（のように間口が狭い店）モールのようなどころや、集合住宅の1Fに入っている屋台（のような店）のようなどころがあります。（こちらは「コーヒーション」と呼んでいるようです）

都心部の有名なホーカーセンターでもない限りは、値段はそんなに高くありません。

自分は某メーカーの社員食堂で、中華やイスラム教徒向けのハラール食材を使ったムスリムフード（ごはんを盛った皿に、大皿からおかずをチョイスして乗せてもらうスタイル）をよく食べました。300〜400円相当で割安でした。社員食堂でなくても、300〜400円程度でランチを食べることができました。私は、基本的に辛いものもパクチーなどの香草を含んだエスニック料理も全くOKなので、食べ物には困りませんでした。日本食レストランも結構あ

りますが、値段は日本の2倍はします。また、非常にアルコール類の税金が高く、ビール2、3杯と焼き鳥なんかを食べると平気で6000円ぐらいます。日本の感覚では2〜3000円程度なんです。気楽にちよつと一杯というわけにはいきません。

●自転車

クルマも温泉もスキーもない中、せつ々かくなので、自転車を趣味に加えることにしました。勤務先から自転車を1台入手して、島の沿岸をまわる自転車専用道路を週末ごとに走りました。通常は20〜30kmですが、多いときは60km以上走りました。日は暑いので、朝7時頃に出発して10時過ぎには戻ってくるパターンでした。シンガポールではお偉いさんでも自転車に乗る人が少なく、また海外からの駐在員も自転車を始める人が多いようで、スポーツタイプの自転車が多かったです。もちろん国土が狭く、趣味としてのスポーツの種類がそんなにないのかもしれない。また、勤務先主催の自転車ツアーも企画され、自分も、シンガポール沖20kmに浮かぶインドネシア・バタム島でのツアーに参加したりしました。

●橋を渡ればマレーシア

シンガポール島の北側はジョホール水道を挟んで、マレーシアのジョホールバルとなりま

す。毎日シンガポールに通って来るマレーシア人も多いです。現に、ジョホールバルから通っている従業員が1名いました。マレーシアの物価がシンガポールよりも圧倒的に安いので、週末にシンガポールからマレーシアに出かけて、買物してクルマのガソリンを満タンにして帰ってくる人も少なくありません。また、ゴルフはマレーシアでやると全然安いですが、自分はやったことがありませんでした。

●シンガポールといえば、マリーオンとその前に聳えるマリーナベイサンズの景色が有名です。しかし、中心街を一步離れると、比較的ゆつたりした土地の使い方も、数多い巨大ショッピングモール、東南アジア的な混沌とした部分が入り混じって、なかなか面白いです。アラブ街、リトルインディア、チャイナタウンといったエスニックな街並みもあります。

シンガポールでは、スポーツを楽しむ施設が少ないため、いきおい自転車をスポーツとして楽しんでる人が多いわけです。東京でしたら、高尾山や陣馬山、丹沢などの山が近郊にあります。そう言った類の山は一切ないのがシンガポールです。ハイキングは楽しめません。シンガポールの人の楽しみは食べることにシヨッピング、国内旅行は事実上ないため、旅行という点で基本的には海外（外国）旅行ということになります。

BIPは、企業様と共に事業開発・経営改善に取り組み、第2・第3の成長を創るパートナー

BIP Business Integration Partners
BIP株式会社 取締役会長 佐々木 昭美

昭和 42 年卒
東京本社 東京都中央区日本橋1丁目2-10 東洋ビル6F
TEL: 03-5542-1417 FAX: 03-5542-1418
東北事業所 宮城県仙台市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン19F
TEL: 022-208-9322
E-mail: info@bi-p.co.jp URL: http://www.bi-p.co.jp

MOTOR SPORTS OIL FORTEC
エコオイルからレーシングオイル開発に携わり、国内、海外展開をしている。
FORTEC モータースポーツオイル発売元
耐久レース、ラリー、ダートトライアル、ジムカーナ等のサポートドライバーが大活躍しております。
代表取締役 渋谷 誠一 (昭和 42 年卒)
フォルテック株式会社
〒270-1108 千葉県我孫子市布佐平和台 4-5-23
TEL 04-7189-4117 FAX 04-7189-2687
<http://www.fortec-oil.com/>

会員通信

令和3年度総会返信ハガキ通信欄から
 ●86才毎日散歩とテレビで過ごして
 おります。いつも乍ら大変苦
 労様です。(S29 関 信良)
 ●茨城県老人クラブ連合会で副会
 長として頑張っております。

(S30 尾崎光彦)
 ●コロナに感染せぬように十分注
 意し、週1クラブのテニスで汗を
 流しています。*ワクチン接種(2
 度終了しました。(S30 門脇敏明)
 ●役員の皆様、ご苦労様です。新
 型コロナによる異常事態に生活の
 凡ての行動、思考まで狭められ、
 身頭の衰えをつくづく身にしてみ
 ている昨今です。否、この禍を転じ
 て皆さん、良い社会へと頑張ろう
 ではありませんか。

(S30 門脇喜代志)
 ●ワクチン接種をネットで予約し、
 2回目も終了して、元気にしてい
 ます。(S30 塚田容三)
 ●この2年間コロナにかからない
 ように注意しています。東京オリ
 ンピックも無事に開催されるよう
 ですので楽しみにしています。同窓会、四
 校会を楽しみにしています。

(S30 横山 武)
 ●本年4月1日に父正志が急逝い
 ましたことをご報告いたします
 ます。投稿を楽しみにしてござい
 ました。今まで大変お世話になりま
 した。(S30 三塚正志(ご子息から))
 ●ワクチン接種を終えました。ク
 ラシック音楽を聴いて元気を出し
 ています。(S31 相沢昭男)

(S31 阿部 進)
 ●お世話、ご苦労様です。連日連

夜スポーツジム、リハビリセンタ
 ー特訓進行中。2回目の世界一
 周を。(S33 佐々木光一路)

●元気です。早くコロナが収まり、
 同窓会一同の会が再開することを
 願っています。(S33 菅原富男)
 ●コロナにも負けず元気で生きて
 おります。(S33 結城睦夫)
 ●老化で足の肉少なくなつて捻挫
 をする人が増えるとか?先日、経
 験しました。ご用心ください。

(S34 青山行雄)
 ●日本財団電話リレーサービスの
 理事長を務めております。

(S35 大沼直紀)
 ●ワクチン接種、早く終わってくだ
 さい。おしゃべりがしたくて、うず
 うずしています。(S36 鹿野軍勝)
 ●コロナ禍で趣味の合唱ができず、
 ひたすらコロナの終息を待ち望む
 毎日です。(S36 吉田二郎)

(S36 大益 弘)
 ●昨年3月末で退職し、現在、農
 業支援サポーターとして体を動か
 しております。菊作りも相変わら
 ず、200鉢程続けております。

(S37 渋谷 孝)
 ●体調を崩し、不安な日々を過ご
 しています。(S38 高橋忠世)

(S38 高橋忠世)
 ●行政区の役員として二年目にな
 ります。行事はコロナ禍でやりく
 り工夫して行っています。

(S39 笹原誠一)
 ●児童の通学路見守り(スクール
 ガード)他、地域ボランティアで
 体力保持に努めています。

(S40 高橋 博)
 ●会報第67号の佐々木宗實画伯の
 コラムを懐かしく拝読しました。

(S40 武田敏夫)
 ●お陰様で、今のところ病院や薬
 の世話にならず、何とか元気に生

きています。(S41 高橋英之)

●区のシルバー人材センターの委
 嘱作業に従事しています。(S42 佐々木正雄)

●地元の自治会長を務めて7年目
 に入りました。多様化が進んで共
 同作業がほとんどなくなりました。
 そのため隣近所との付き合いが減
 つて、バラバラになりつつありま
 す。どの様に互助の関係を築くの
 が課題です。(S42 門田芳司)

(S42 森谷里美)
 ●沖縄、剛柔流空手道「森谷塾」
 は創塾35年に入り、多数の尊敬し
 ている母校の先輩のアドバイスや
 愛弟子の挨拶を受け(健在成)何
 時も感謝申し上げてる次第です。

(S42 森谷里美)
 ●コロナ感染で国民皆ギリギリ我
 慢しているのに、政府、特に感染
 専門委の対策がうまくいってない
 ようです。感染に気をつけよう。

(S44 相澤次雄)
 ●大正デモクラシーの泰斗「吉野
 作造」先生について研究中。75歳
 までに一冊の本に上梓したいと思
 っています。(S44 岡村明)

(S44 岡村明)
 ●1回目のワクチン接種を終えホ
 ットしてたら、筋力の低下に驚き
 ました。まずはテレビ体操と近所
 の散歩から!(S46 遠藤 孝)

(S46 遠藤 孝)
 ●ワクチン接種の本格化でようや
 く光明が見えてきた思いがいたし
 ます(その後、コロナ感染が若中
 年層に広がっているが、全体の接種
 を急ぎたいもの)。(S46 笠間邦彦)

(S46 笠間邦彦)
 ●あと少しのしんぼうかと耐えて
 おります!ご自愛ください。

(S47 工藤春彦)
 ●元気で仕事をしております。週
 2日のテレワークをしています。

(S47 工藤春彦)
 ●意外につかれます。(S47 松本秀二)
 ●コロナ禍で、リモート業務が普
 通になり、老後生活の予行練習の
 ような日々です。(S55 斎藤秀範)

(S55 斎藤秀範)
 ●ワクチン接種を首を長くして待

っている状況です。諸先輩方と
 再会出来る日が早く来ることを願
 っております。(S57 赤間英一)

心よりご冥福を
 お祈りいたします

高橋 昭典氏 (昭和20年卒)
 令和3年11月17日逝去

大場 孝夫氏 (昭和22年卒)
 令和2年6月26日逝去

大金 昭夫氏 (昭和24年卒)
 令和3年2月25日逝去

中森 高氏 (昭和27年卒)
 令和3年10月10日逝去

佐々木 英三氏 (昭和30年卒)
 令和3年4月30日逝去

高橋 健三氏 (昭和30年卒)
 令和3年11月10日逝去

三塚 正志氏 (昭和30年卒)
 令和3年4月1日逝去

遠藤 文雄氏 (昭和35年卒)
 令和2年12月24日逝去

児玉 隆之氏 (昭和36年卒)
 令和3年2月14日逝去

—在京古高同窓会副会長—
 令和3年2月14日逝去

編集後記

印刷をお願いしております(株)ケ
 ーヨーで、「蜚雪」を担当されて
 いた飯沼真氏が退職されました。
 この場を借りて長きに渡るご協力
 に感謝申し上げます。
 コロナ禍の中、諸々の誤情報や
 デマ・風評が流れています。これ
 らに惑わされることなく、やれる
 ことは着実に実行することが、収
 束に向かう道筋かと思われま

(亀井)

複雑な税務問題の相談に応じます
税理士鈴木博事務所
 税理士 **鈴木博** (昭和46年卒)
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-5-1 第37森ビル1階
 (虎ノ門合同事務所)
 TEL 03 (3433) 0481 FAX 03 (3433) 0493
 E-mail : hiro0917@toranomom-ssta.com

TECHNOLOGY of MAGNETIC PRODUCTS

EMC対策部品

- ノーマルモードラインフィルター
- コモンモードラインフィルター

チョークコイル

- スイッチング電源用プーストチョークコイル
- インバータ家電PFC用プーストチョークコイル

TMP株式会社
 代表取締役 佐藤勉 (昭和42年卒)
 神奈川県大和市大和南 2-1-16 大和ホワイトビル7F
 TEL 046-260-6788 FAX 046-260-1624